

Sibelius 6

表記法

Sibeliusは、美しいだけでなく、自由に調整可能なスラーを作成できます。デフォルトで、どんな状況でもより適切な場所に配置するようされているだけでなく、**6つのコントローラー**を使用して自由に形を表記を調整できます。新しい表記ルール・オプションを使って、デフォルトの高さやショルダーを様々な長さのスラーにコントロールし、各スラーの厚みを調整できます。

Sibeliusは、注記的な臨時記号を必要に応じて自動的に追加するようになったので、間違っただけの音符を演奏することが少なくなります。デフォルトの設定通りに追加させるだけでも良いのですが、いつものように変更可能な様々なオプションも付属しています。臨時記号をどこに使用するか、括弧で表示させるかなどを設定することができます。

テンキーから直接、**1、2、4小節**のリピートを追加できるようになりました。複数のリピート小節は、プラグインを使わなくても自動的に番号がつけられるので、演奏者は譜面のどこを演奏しているかわからなくなることはありません。そして、リピート小節も他と同様に再生されるようになりました。

Scoop、Fall、Doit、Plopなどを、テンキーから素早く音符に追加できるようになりました。記号を使用する必要はありません。その他のアーティキュレーションと同様に、これらは自動的に配置され音符と一緒に移動しますが、別々に移動させることもできます。ジャズのアーティキュレーションは、適切なサウンドライブラリで再生されます。スラッシュは、譜面の他のパートが移調しても変わらず、リズム・チャートをより素早く作成できます。その他のジャズ関連の改良点は、コンピューターや**MIDI**キーボードを使ってこれまでより高速に入力できるコード記号の改良などが含まれます。コード機能に関する詳細については、ビデオをご覧ください。

連桁内にある休符用のステムレット（ハーフステム）のオプションが追加されました。スコア全体に渡ってステムレットを適用、またはキーパッドを使って個々の休符に追加することができます。連桁内の休符の表記には、ステムなしの表記なども含む、他にもいくつかの改良点やオプションが追加されています。**Sibelius 6**は、短いアッチェレランドやリタルダンドを示すための自動羽根付連桁も付属しています。この場合も、キーパッドから選択し、**2つのノートのトレモロ**に使用することもできます。**1:4** から **4:1**の比率で極端な三連符も作成できるようになりました。これは特殊なケースに便利です。